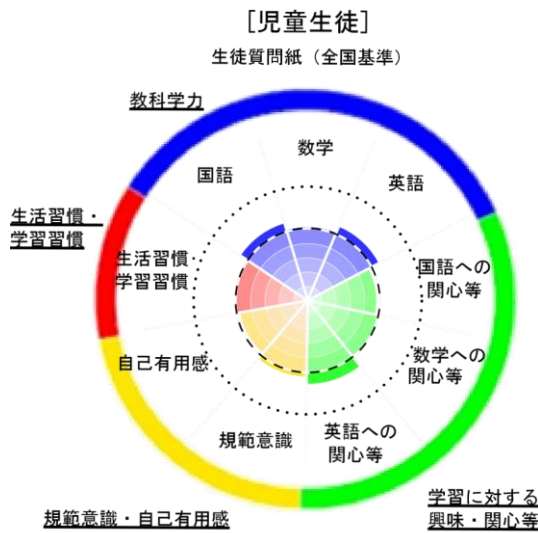


全国学力・学習状況調査結果概要

4月に3年生を対象として行われた全国学力学習状況調査の結果をご報告いたします。

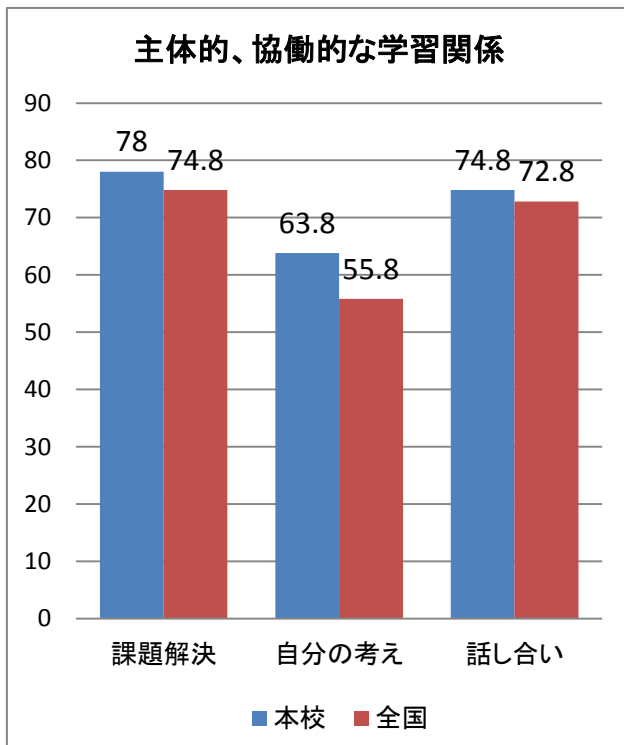
1 生徒質問紙（全国基準）調査結果チャート 点線が全国平均を表しています。



教科学力の領域では、国語・数学・英語の平均正答率は、いずれも全国の平均正答率を上回っており、特に国語は5ポイント以上上回っています。

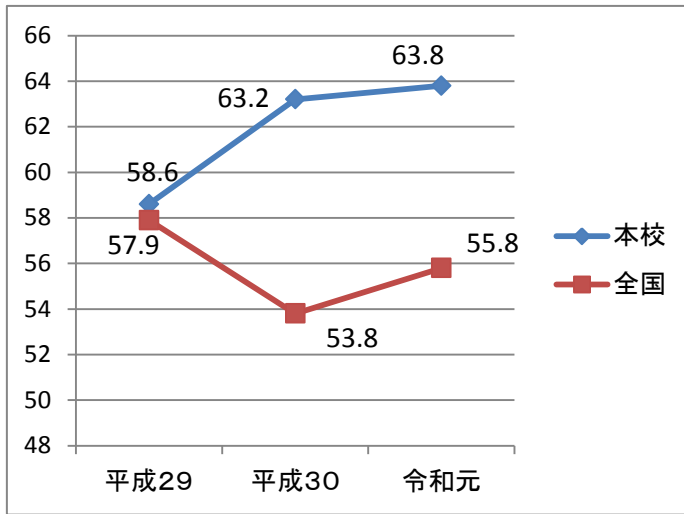
「学習の基礎となる興味・関心」の領域では、国語、数学はほぼ全国平均と同じ、英語は平均を上回る状況であり、生活・学習習慣、自己有用感については、ほぼ全国平均と同じ結果となりました。

2 生徒質問紙の結果から



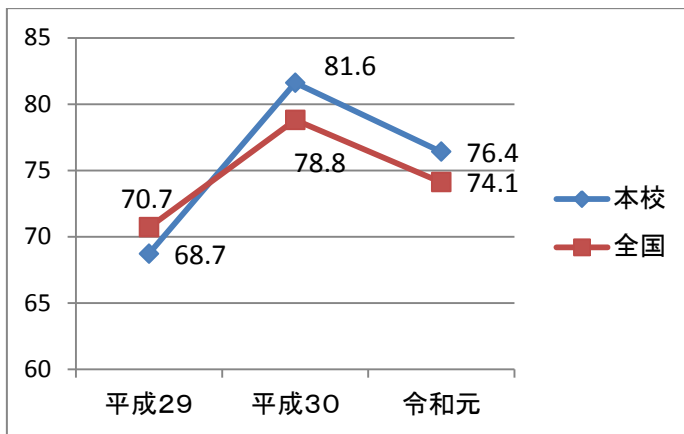
本校では、主体的・協働的に学習に取り組み、自ら考える生徒の育成を目指しています。そこで、生徒質問紙の結果から、関連する項目を全国平均と比較してみると、「課題解決に向けて自分で考え取り組む」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えうまく伝わるよう工夫した」「話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広めたりする」での、肯定的な回答は、いずれも全国平均の値を上回る結果が見られました。

自分の考えを伝える工夫



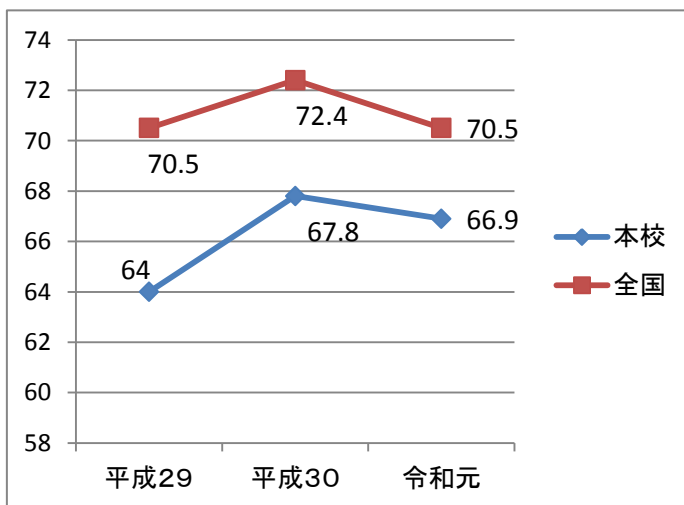
「自分の考えを発表する機会では、自分の考えをうまく伝えるよう工夫した」については、年々上昇してきています。自分の考えを伝える力は大事にしていきたいことがらですので、今後も各教科等において発表する機会を確保して、より力を伸ばしていくことに努めていきます。

自分には良いところがある



「自分には良いところがあると思いますか」との質問について、肯定的な回答は全国平均よりも上回ってはいるものの、前年度よりも低い値となりました。今後様々な経験を通して、生徒の自己有用感の向上に努めていきます。

将来の夢や目標を持っている



「将来の夢や希望を持っていますか」の質問では、今年度含め3年間、肯定的な回答が全国平均を下回っています。上記のように、自分の良さを感じている生徒は多いので、キャリア教育や講演会、進路指導や教育相談等を通して、生徒が身近な目標を持つことから取り組んでいきたいと考えます。